

文学研究科

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

日本文化専攻

【修士課程】

文学研究科日本文化専攻修士課程では、以下の通り入学者受入方針を定めます。

- （１）本専攻進学に先立って、学部教育における一般教養と専門的知識を備えている人。
- （２）専攻の個別専門分野である日本語学、日本文学、日本民俗学、日本史学を中心に、古代から近現代に至るまで、日本文化における独自性や多面性などの諸問題について総合的に把握する意欲を有する人。

【博士後期課程】

文学研究科日本文化専攻博士後期課程では、以下の通り入学者受入方針を定めます。

- （１）修士の学位を取得した上で、修士論文を基に、専門的な知識、思考力、分析力など研究能力についての更なる向上が見込める人。
- （２）日本文化に関する専門的な教養を有した上で、さらにそれをより広い文脈の中で相対化し、横断的に隣接諸分野へと架橋し得る柔軟性と思考力を有する人。
- （３）日本文化に関する専門的研究を深め、研究者として当該分野における研究を発展させ得る潜在能力を有すると共に、教育者として高等教育においてその能力を発揮しようとする意欲を持つ人。

地域社会システム専攻

【修士課程】

文学研究科地域社会システム専攻修士課程では、地域社会に関する多様な領域の個別研究の成果と、諸課題に関する学際的連携による研究をふまえて、地域社会の地理・環境、経済・政治活動、組織・集団関係、地域文化、住民の生活・活動などから構成される地域社会システムについて、その構造と変動過程の解明をめざして多面的な研究を行い、高度な専門職業人を養成することを目的とし、以下の人を入学者として受け入れます。

- (1) 本研究科で学ぶために必要な学力を身につけている人。
- (2) 地域社会への強い関心を持ち、地域社会の構造と変動過程について、主体的に研究する意欲がある人。
- (3) 地域社会に関する多様な分野の専門知識を修得して、地域社会への貢献を目指す人。

【博士後期課程】

文学研究科地域社会システム専攻博士後期課程では、地域政策、地域計画、地域活動などの諸要素をも組み込んだ地域社会の再構築を構想する研究、教育を組織的、実践的に行うことによって新たな地域社会システムのあり方を探究し、研究者及び地域計画に関わる高度な専門的職業人を養成することを目的とし、以下の人を入学者として受け入れます。

- (1) 地域社会の多様な分野に関する幅広い知識を修得している人。
- (2) 地域社会の諸問題について、客観的な分析にもとづいた論理思考により、独自の見解を体系化できる能力がある人。
- (3) すでに修得した専門知識をより深めながら教育職や研究職に就く意志がある人。

欧米文化専攻

【修士課程】

文学研究科欧米文化専攻修士課程では、以下の通り入学者受入方針を定めます。

- (1) ヨーロッパとアメリカの文化一般を、思想・文学・言語学の各分野で幅広く研究を行う意思を持つ人。
- (2) 欧米の文化の諸相をその歴史を通して相対的に究明し、それを礎にして教育的実践や新たな文化の発展に寄与し得る潜在能力を持つ人。
- (3) 本専攻進学に先立つ条件として、学部教育における一般教養と専門的知識を十分備えていなければならない。
- (4) 欧米の原典を読むに先立って、相応の外国語能力を持っていることを条件とする。

【博士後期課程】

文学研究科欧米文化専攻博士後期課程では、以下の通り入学者受入方針を定めます。

- (1) 欧米の文化一般の幅広い知識を備えていることを前提とし、さらに専門的研究を深めていく強い意志を持っている人。
- (2) 客観的な批判と分析に基づいた論理的思考により、研究対象を体系化し得る潜在能力を持っている人。
- (3) 指導的立場に立って文化創造をしたり、教育職や研究職に就く強い意志を持つ人。